



水の仲間たち

～ 水に関わる方々を紹介します～

特定非営利活動法人 ワールド・サポート・プロジェクト

東南アジア(ラオス・ベトナム)を中心に、水環境保全等に力を注いでいる、「特定非営利活動法人ワールド・サポート・プロジェクト」の代表 秋本様にお話を伺いました。

ー 活動内容について、教えてください。

主にラオスの農村部で水質検査や水質改善を行っています。
ラオスの首都郊外にある小学校では、水道がないため、井戸水を飲料水とする計画でしたが、夏季(3月～5月初め)に水が不足することもあり、校長先生の切なる要望で新たな井戸を掘り、井戸水浄化を行いました。
この井戸水には臭いがあり、多少の重金属も含まれていて、今後殺菌を行わなくては飲料水としては使用できないものの、新たな井戸を掘ったおかげで、子どもたちは暑い日でも水浴びができるようになりました。



ラオスの子どもたちと

ー 活動を通して、どのようなことを思い、感じていらっしゃいますか？



第8回世界水フォーラムにて

地球上の水は、今や「いくらでもあるもの」から「限られたもの」になってしまいました。このことが、全生命体の自然環境に過剰な負荷をかけています。そのため、私は、水資源に対する人々の認識を大きく改めたいと考えています。

2018年にブラジルで開催された第8回世界水フォーラムでは、ラオスでの水循環に関する活動について発表させていただき、水資源の重要性を世界に発信することができました。日本パビリオンでは、「持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた具体的な取り組みと貢献」をテーマとし、水の豊かさや綺麗さについてアピールしていたのに対し、他国では、水不足や汚染水に対する対策を議論していたことがとても印象的でした。

私は、人と自然のかけ橋となって、水環境を見守っていきたくと考えています。

ー 活動の中で、大変だと感じる点や苦労した点を教えてください。

浄水装置を作ろうとしても、途上国では物資や資金を調達できないことが多々あります。特に資金調達はとても苦労するところです。

渡航費や現地経費は個人で負担していますが、現地での浄水装置作りには、自治体等の助成金や企業の寄付等が必要不可欠です。

ー 川口の水道や下水道について望んでいることを教えてください。

下水道に流された油は下水道管に付着し、「つまり」や「悪臭」の原因になるばかりでなく、大雨の時にはそれらが大量の雨水と一緒に川や海に流れ出し、水環境に悪影響を与えています。このことから、上水道よりも下水道保全がいかに大切であるか、上下水道局からも啓発することが必要ではないかと思います。

ー 活動を通して、川口市民の皆さんに伝えたいことはありますか？

日本では「蛇口をひねれば水が出る」ことが当たり前ですが、途上国では水道がないことがほとんどです。

綺麗で豊富な水がいつまでも得られると思っている方が多いと思いますが、世界的には人口が増え、都市化により水使用量も急増加した結果、世界中で水不足を招いています。

このような状況の中、私たちができることは、「水を大切に使うこと」「水を効率よく使うこと」「水源を守ること」だといえます。「川を汚さない街づくり」として、市内を流れる河川のゴミ拾いを、地域のボランティア団体や自治会・町会で実施しています。

途上国での水環境保全のための取り組みに関する貴重なお話をありがとうございました。右記ホームページにて、途上国の環境改善を中心とした様々な支援活動について発信していますので、ぜひご覧ください！

特定非営利活動法人 ワールド・サポート・プロジェクト
連絡先 048-456-5045
ホームページ <http://www.supportpro.org>

